

「目標」の進行状況について

目標の位置づけ：総合計画後期基本計画の計画期間(平成24年度～平成28年度)で達成しようとする成果指標
(各施策に対し、概ね1～4つの目標。合計目標数:78)

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)」の見方】

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析 6	今後の方針 7	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容 8
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1			貸し館系施設の利用件数	件/年	1	2	目安値	8,864	9,023	9,182	3	9,341	本目標の対象施設となっていない市民創練センターの完成により使用できる施設が増えたため、利用者は前年と比較し減少となった。しかしながら、芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用など、貸館利用のニーズは高いことから目標値は達成しており、計画最終年度の達成も見込まれる。 (対象施設：生涯学習センター、コスモホール、交流文化館浅科)	利用しやすい施設とするため、コスモホールの施設修繕を進めるとともに、文化事業を実施する者への補助制度(芸術文化活動事業補助金)を継続する。	達成見込み	既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と、適切な維持管理を図ります。
					実績値	9,889	10,916	11,801	4	11,100						
					評価	順調	順調	順調	5	順調						
2	111	文化・芸術	観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	目安値	39,075	39,306	39,538	39,769	旧中込学校は、平成26年度の全期間と平成27年度の4か月間、改修工事のため休館しており、大きな減少要因となった。また、他の施設に関しては、展覧会等の企画の充実に取り組んだ結果、若干の増加となっている。特殊要因はあったものの全体では目標を大きく下回っており、計画最終年度の達成は難しいと見込まれる。	展示・展覧会の企画を充実させるとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入館者の増加に取り組む。	達成見込み	利用者の増加に向け、魅力ある展示や、講座などの開催を推進します	
					実績値	35,802	35,802	27,040	35,467							
					評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている							
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	目安値	70	72	75	77	考古学教室参加者へアンケートを実施し、参加者ニーズに合わせた教室(勾玉づくり)を開催したところ大幅な増加となった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	文化財への関心を高めるため、学校への出土品の貸出を行うなど、埋蔵文化財に触れる機会の拡充を図るとともに、引き続きアンケートを実施することにより、参加者のニーズに合った考古学教室の開催に努める。	達成見込み	市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、小中学校への出土品の貸出しや各種講座の開催など、文化財に触れる機会の拡充を図ります。	
					実績値	78	87	31	81							
					評価	順調	順調	遅れている	順調							

見本

① 計画策定時の値

後期基本計画策定当時の直近の値(ほとんどの項目において、平成22年度の値)

② 平成28年度末の目標値

後期基本計画において、平成28年度までに達成すると定めた値

③ 目安値

平成28年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。
 多くの目標において、現状値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしている。
 (例:現状値が100人、目標が600人の場合の平成26年度の目安値…300人)
 ただし、均等な推移が見込めないなど、これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を再設定。

④ 実績値

平成27年度の実績値

⑤ 評価

次の基準によって判定を行う。

T : 目標進捗率 = (H27年度実績値 - 現状値) / (H27年度目安値 - 現状値)

区分	H24 (H25年度に評価)	H25 (H26年度に評価)	H26 (H27年度に評価)	H27 (H28年度に評価)
順調	目安値以上の改善 $T \geq 1.0$	同左	同左	同左
おおむね順調	目安値の5割以上 10割未満の改善 $0.5 \leq T < 1.0$	目安値の6割以上 10割未満の改善 $0.6 \leq T < 1.0$	目安値の7割以上 10割未満の改善 $0.7 \leq T < 1.0$	目安値の8割以上 10割未満の改善 $0.8 \leq T < 1.0$
やや遅れている	目安値の5割未満の 改善 $0 < T < 0.5$	目安値の2割超 6割未満の改善 $0.2 < T < 0.6$	目安値の4割超 7割未満の改善 $0.4 < T < 0.7$	目安値の6割超 8割未満の改善 $0.6 < T < 0.8$
遅れている	改善が見られない、 悪化している $T \leq 0$	目安値の2割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.2$	目安値の4割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.4$	目安値の6割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.6$
実績値なし	統計上、実績値が 把握できない	同左	同左	同左

【審議の視点】

- 目標への近づき具合について
- なぜ遅れているのか
- 何をすればより順調に進むか
- 結果の分析は妥当か
- 今後の方針は妥当か
- 今後の取り組みに対する提言 など

⑥ 結果の分析

平成27年度の実績値及びその推移について、評価結果を踏まえて考えられる要因分析や補足説明を記載。今年度は最終的な目標の達成見込みも記載。

⑦ 今後の方針

結果の分析を受けて、目標達成に向けた今後の取り組み方針について記載。今年度は第二次佐久市総合計画を見据えた記載。

⑧ 第二次総合計画前期基本計画の前期の主な取組記載内容

目標に関連した第二次総合計画前期基本計画への記載内容。